

白河市の年表

年号(西暦)	こ と が ら
昭和4年(1929年)	白河町役場新しくなる。トーキー映画はじまる。このころ白棚線にバス走る。
15年(1940年)	白河測候所ができる。
16年(1941年)	NHK福島放送局ができる。ラジオ放送がはじまる。
19年(1949年)	学童疎開はじまる。白棚線をなくす。
24年(1949年)	白河市となる。(大沼村の合併) 人口31,483人。
25年(1950年)	白河中央中学校できる。
29年(1954年)	白坂村、小田川村、白河市と合併。テレビ視聴始まる。
30年(1955年)	五箇村、関辺、旗宿、白河市と合併。
32年(1957年)	白河市上水道ができる。白棚線がバスになる。
34年(1956年)	国鉄黒磯・白河間電化される。関辺小独立。
35年(1960年)	自動電話になる。
36年(1961年)	都市ガス。市民プールができる。
38年(1963年)	鉄道複線になる。(白河～久田野間)
39年(1964年)	市民会館できる。国道4号線ほそうされる。
42年(1967年)	中央公民館できる。白河二小学校新校舎ができる。
44年(1969年)	市立図書館できる。
46年(1971年)	白一小学校新校舎ができる。
47年(1972年)	今の市役所庁舎ができる。
48年(1973年)	東北自動車道、白河～郡山間が通る。
49年(1974年)	市公設地方卸売市場水産部できる。今の市民プールができる。
50年(1975年)	関辺地区「さんじもさ踊り」重要無形文化財に指定される。
51年(1976年)	谷津田川にコイの稚魚放流。
52年(1977年)	文化センターできる。
53年(1978年)	市休日急患センターできる。
54年(1979年)	関辺小学校新校舎できる。歴史民俗資料館ができる。
57年(1982年)	新白河駅できる。東北新幹線大宮～盛岡間開通。
58年(1983年)	松平定信公襲封200年祭がおこなわれる。県営白河体育館ができる。
59年(1984年)	シートベルト着用推進都市宣言。
60年(1985年)	東京白河会ができる。
61年(1986年)	白河地方広域市町村圏消防本部新庁舎完成移転。
61年(1986年)	白河第五小学校新築落成。
63年(1989年)	小田川小学校新築落成。フランス共和国、コンピエーニュ市の代表団来白。
平成元年(1989年)	学校給食センター、市保健センターオープン、白河第四小学校新築落成。
2年(1990年)	フランス共和国、コンピエーニュ市の青年団来白。
3年(1991年)	小峰城三重櫓落成。白河関の森公園開園。五箇小学校新築落成。
4年(1992年)	白河市国体記念体育館ができる。福島空港ができる。
5年(1993年)	白河第三小学校新校舎ができる。白河ツインスタジアムができる。
6年(1994年)	オーストラリア・ブリスベン市の青少年団来白。
7年(1995年)	西白河地方クリーンセンターができる。「ふくしま国体」開催。
9年(1997年)	みさか小学校開校。
10年(1998年)	8.27豪雨災害。
11年(1999年)	市政施行50周年記念式典が行われる。
11年(1999年)	白河市情報センターができる。
12年(2000年)	白河駅前イベント広場ができる。
13年(2001年)	南湖開園200周年記念事業が行われる。
〃	福島県文化財センター白河館「まほろん」ができる。